

受験番号	A								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

解答用紙番号
英語0—1

11—0—1

採点記入欄

英語解答用紙

解答用紙は、全部で2枚である。

座席番号			
------	--	--	--

(下の座席番号欄にも記入すること。)

注意
※採点記入欄には何も記入しないこと。

1

問1 _____

しかし、ラップがこのような「安全」な時代と業界による統制の時代に至るまでの歩みは、50年以上前にラップが広く知られるようになってから始まっている。

問2

--

問3

B

問2は問題として不成立と判断したため、受験者全員、一律正解とした。

問4 _____

若く、より幅広い聴衆への普及は、オリジナルのメッセージを弱め、抗議的要素を取り払い、肯定的で（前向きで、ポジティブで）攻撃的でない歌詞を提供することによって達成された。

問5

C

問6

B	E
---	---

 (順不同)

1

--

2

--

3

--

4

--

5

--

6

--

※採点欄

--

2

問1 _____

即座に私の注意を引いたのは、まるでそれが何かの意味を持つかのように、僧侶たちが一口一口に同じだけの時間を費やしていたことである。

問2

A

問3

C

問4

B

問5 _____

時々感情から距離を置くような実践は、あるタイプの瞑想を通じて西洋社会でも主流になっており、そういった瞑想はどんな背景を持つ人々にも開かれたものである。

問6

A	E
---	---

 (順不同)

1

--

2

--

3

--

4

--

5

--

6

--

※採点欄

--

選抜区分
A

注意

1. この欄の座席番号も必ず記入すること。
2. ※採点表には何も記入しないこと。

解答用紙番号
英語0—1

11—0—1

座席番号

10 11 12

※採点表	
問題1	問題2
0	0

13 14 15 16 17 18

受験番号	A								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

解答用紙番号
英語0-2

11-0-2

採点記入欄

英語解答用紙

座席番号			
------	--	--	--

(下の座席番号欄にも記入すること。)

注意
※採点記入欄には何も記入しないこと。

3

A. In the second paragraph, a commentator on the Japanese TV show expressed a negative view / critical opinion of the foreign visitor's reaction, because the commentator believed slurping noodles is a part of Japanese food culture. Furthermore, it is related to one of the Japanese traditional performing arts.

A

B. According to the third paragraph, slurping noodles has practical benefits such as enhancing flavor through aroma, cooling the noodles for safer eating, and increasing engagement in the dining experience.

B

C. _____

C

Answer A: problematic

I suppose this is problematic. I think that simply making people uncomfortable is something that should be morally avoided. The act of slurping noodles is a part of traditional Japanese food culture and should be respected, but it should not be practiced to the point of causing trouble to others. Even if one argues logically that slurping noodles is part of Japanese food culture, the discomfort is a sensation and is not something that can be easily erased. First of all, it is important to behave in a way that does not cause problems in society. (96 words)

※採点欄

Answer B: not problematic

I do not see this as a problem. We are eating at a Japanese noodle restaurant in Japan, so slurping noodles is a normal act and should not be considered an issue. There are good reasons to slurp noodles in the first place. As the author wrote, one of the purposes of this act is to enjoy the aroma and the flavor of the noodles, soba noodles in particular can be enjoyed in this way. I would rather teach foreigners who do not slurp their noodles that this is a delicious and traditional way to experience authentic Japanese food culture. (100 words)

1~6

7~12

※採点欄

4

1	2	3	4	5	6
C	L	U	X	T	Z
7	8	9	10	11	12
M	O	Y	P	D	E

選抜区分

A

注意

- この欄の座席番号も必ず記入すること。
- ※採点表には何も記入しないこと。

解答用紙番号
英語0-2

11-0-2

座席番号

10 11 12

※採点表					
問題3			問題4		
0			0		

13 14 15 16 17 18

出題の意図

令和8年度 前期日程入試
英語

1

- 問1 センテンスの構造は分かりやすく文法も容易である。主節で用いられている単語も容易であるが、1文目と2文目を理解し、文脈を読まなければ和訳は難しい。本設問は特にこの主節を意味の通訳にまとめられるかを問う。
- 問2 問題冊子には、Rap's origins can (ア) the South Bronx, New York, in the early 1980s. とあるが、1980s は 1970s の誤植であった。1980s とした場合、他の記述との時系列的齟齬が生まれるため、本問は設問として成立しないと判断したため、受験者全員、一律正解とした。
- 問3 下線部(2)の表現が象徴的に示す具体的内容を、本文を参照しながら理解できたかを問う。
- 問4 下線部(3)文頭の This の内容を具体的に補いながら和訳できるかを問う。直前のセンテンスを上手くまとめながら主語(This)を作らなければならない。センテンス後半(特に, eliminating…以降)を分かりやすく丁寧に和訳できるかも問う。
- 問5 直前のセンテンスの内容を受けて、直後のセンテンスの冒頭に適切な副詞(接続副詞、あるいは副詞句、あるいは副詞)を補えるかを問う。
- 問6 本文全体を適切に理解できているかを問う。

2

- 問1 each bite を直訳せずに、しかるべき意味として理解しているか、さらに「What (関係代名詞)」や「as if 節」の意味を適切に理解した上で、全体として理解可能な和訳ができるかを問う。
- 問2 下線部(2)の表現は、直前のパラグラフ(第1パラグラフ)後半の内容であることを理解しているかを問う。
- 問3 空欄(ア)の直前に述べられている内容を適切にパラフレーズした表現を選ぶことができるかを問う。
- 問4 2つのセンテンスにおいて、文脈上適切な語(もしくは語句)を補えるかを問う。

問5 This に具体的な言葉を補いながら和訳できるかどうか、本問題の大きなポイントとなる (This の内容は、和訳するセンテンスからは比較的離れた「第2パラグラフ前半」で語られている)。また meditation (瞑想) や the West (西洋) を適切に和訳できるか、また、関係代名詞の非制限用法 (which…) を理解しているかも問う。

問6 本文全体を適切に理解できているかを問う。

3

Question A

第2パラグラフの内容をしっかりと理解してパラフレーズできるかを問う。

Question B

第3パラグラフの内容をしっかりと理解してパラフレーズできるかを問う。

Question C

「麺類 (ラーメン, 蕎麦, うどん等) を提供する日本のお店で、あなたの隣に外国人がいる場合、あなたがすすりながら麺類を食べるのは問題であるか?」という趣旨の設問である。問題である/問題でない、どちらの立場に立つとしても、解答者が説得的/論理的に自身の主張を英語で述べられるかを問う。

4

大問 4 のエッセイは、前半を「会話文」、後半をその「要約文」としている。解答者は要約文中の () 内に適切な意味の語を補う。各選択肢の意味、語法、また () 前後の文脈の理解、さらに会話文を参照しながら検討する能力、これらを問うものである。

以 上